



置賜総合支庁公式ツイッターはじめました！



施策やイベントなど、分かりやすく発信していきます



@iine_okitama



フォローお願いします♪



「第45回全国育樹祭緑の少年団活動発表大会」

～全国へ伝える、米沢市緑の少年団の緑と地域を慈しむ心～



米沢市緑の少年団(三沢西部小)が国内最高賞！



一般財団法人田沢自彊会は育成功労賞！



藤沢草木塔(道の駅田沢)

令和4年11月12日に大分県で開催された第45回全国育樹祭緑の少年団活動発表大会において、米沢市緑の少年団(米沢市立三沢西部小学校)の活動が、緑の少年団に関する国内最高賞である「みどりの奨励賞(国土緑化推進機構理事長賞)」を受賞したので報告します。全校生9名で活動する同少年団は、「先人に学び、世界を見つめ、未来を想い、足元から行動する」をテーマに、草木塔をはじめとした地元文化の学習・発信に力を入れています。

活動発表会に代表として参加した庄司さん(小6)と島扇さん(小6)は、「他県のそれぞれの活動の特色を知り、自分たちの地域について改めて考えるきっかけになった。」と感想を話します。特に、「大分県の緑の少年団の災害に対する考え方が、田沢地区の草木塔に込められた「自然をおそれる」という考え方と似ていると感じた。」という、異なる地域の共感できる文化・活動に出会えたことが印象的とのことでした。パネル展示をご覧になった秋篠宮皇嗣殿下、皇嗣妃殿下からは、「機会があれば、田沢の草木塔を見てみたいですね」というお言葉を直接お声がけいただけただけです。大変貴重な経験を得て、「未来に向けて、私たちにできることがまだまだたくさんある。」と決意を新たにしていました。

また、同会場において、30年にわたり同緑の少年団の育成に貢献した米沢市の一般財団法人田沢自彊会も、「緑の少年団育成功労賞」の表彰をされています。

置賜地域の緑の少年団活動及び育成功労賞に関する全国表彰は、令和3年度のいいで緑の少年団、加藤善次郎氏(南陽市)に続き2年連続です。

これからも、置賜地域から、緑化活動の輪を広げられるよう、緑の少年団活動を支援していきます。



米沢市緑の少年団
(左から2、3番目)



塩地平草木塔



一般財団法人 田沢自彊会
(左から2番目)



庄司さん

島扇さん

「知事と若者の地域創生ミーティング in 飯豊町」を開催

11月22(火)飯豊町で「知事と若者の地域創生ミーティング」が開催されました。このミーティングは、明日の地域創生を考えることを目的に、開催地の首長が進行役を務め、若者と知事が対話を行うものです。

ミーティングは来年4月開学予定の「電動モビリティシステム専門職大学」で開催され、高校生1名を含む10～40代の8名の方が吉村知事・後藤飯豊町長と「こうなったらいいと考えていること」や「今取り組んでいること」などをテーマに対話しました。

対話の中では、SDGsや、農業、託児、地域コミュニティなど多くの話題が出され、終始和やかなムードの中で進行されました。

吉村知事は「色々な事を考え、色々な事に挑戦する。人の力を借り、人に力を貸す。協力し合い、支えあうのが社会の

原点。是非これからも皆さんの想いを大事に、飯豊で活動していただきたい」と激励しました。



吉村知事、後藤飯豊町長、西澤置賜総合支庁長、加藤西置賜地域振興局長、ミーティング参加者の方々

■ 総務課 企画調整担当 電話 0238-26-6006

からだも心も
あったまるべ～

やまがた冬のあった回廊キャンペーン開催！

置賜地域3市5町と上山市では、3月31日まで、「やまがた冬のあった回廊キャンペーン」を開催しています。

冬の置賜・上山の魅力さをさらにパワーアップして皆さんにお届け！特に今年は東置賜エリア(南陽市・高島町・川西町)に注目。冬ならではの体験メニューや地域の魅力を感じることができる新企画をご用意しています！他にも、米沢牛や銘酒・ワインに代表される美食・美酒、名湯・秘湯、パウダースノーが楽しめるグレンデでのスキー・スノーボード、スノーパークでの雪遊び等、冬の魅力がいっぱい。

新たに公式LINEも開設！観光情報やキャンペーンなど耳寄り情報をお知らせします。置賜・上山を観光し、アンケートに答えるだけで、米沢牛カタログギフト等豪華賞品が当たるプレゼント企画もありますよ！

詳しくは、ホームページまたは置賜・上山の道の駅等に設置しているリーフレットをご覧ください。

米沢牛・ワイン・銘酒の郷へ。

山形日和。TOURISM



やまがた冬の あった回廊

YAMAGATA WARM & COZY WINTER TOUR CAMPAIGN

おきたま・かみのやま
2022.12.1(困)-2023.3.31(画)

ホームページアドレス
<https://attakairou.oki-tama.jp/>

あった回廊 🔍



■ やまがた冬のあった回廊キャンペーン
実行委員会事務局(置賜総合支庁観光振興室内) 電話 0238-26-6046



山形おきたま観光協議会

公式LINE
友だち募集中！



友だち登録特典

- お店で使えるお得なクーポンいっぱい！
- 最新イベント情報をお知らせ！
- アンケートに答えて、美食・美酒豪華プレゼントが抽選であたる！



日本初！「電気自動車、自動運転」の教育・研究に特化した専門職大学が2023年4月開学！

第一線で活躍する電気自動車、自動運転の研究者、開発者、設計者を世界の自動車関連産業に輩出することを目的とした「**電動モビリティシステム専門職大学**」が来年4月飯豊町に開学します。

大学では、電気自動車システムの専門4分野「電池」「モーター・インバータ」「車体」「自動運転」を基

軸に、関連する知識・技術を4年間で体系的に学ぶことができます。

世界で喫緊の課題であるCO₂の削減や、事故や渋滞のない人に優しい新しい電動モビリティシステムの早期実現を目指し、SDGsの目標達成に貢献する専門職大となっています。

■ 地域産業経済課 産業振興担当
電話 0238-26-6042



～高校生に

地元企業の魅力を紹介！～「高校生と地域企業等の交流事業」を開催！

県内企業や地域の産業情報に触れる機会の少ない進学校の高校生を対象に、地元で活躍する若手経営者による講演会を開催し、地域の「企業の魅力」や「産業界で働くことの意義」を伝えました。

○長井高等学校 2年生171名(10月25日開催)



同校の卒業生でもある「山形座 瀧波」ゼネラルマネージャーの須藤宏介(すとう こうすけ)氏が講師を務め、「人と人の間で生きる事」と題して講演していただきました。高校時代の思い出や、家業の「旅館業」を継承し盛り上げてきた経験談を紹介、「今は目標が明確でなくても、目の前のことに全力で取り組めば、人生をかけるだけの価値のあるものを見つけられる」と語りかけました。



○米沢興譲館高等学校 1年生205名(11月17日開催)



株式会社マインド代表取締役社長の内藤寛(ないとう ひろし)氏が講師を務め、「受け継がれる歴史と未来へのバトン～地域を愛し地域と生きる」と題して講演していただきました。新型コロナにより考え方が一変し、地域に目が向くようになったことや、「時間を大切に使う、自ら歩む道を選んで欲しい」など、熱い想いを伝えました。



■ 地域産業経済課 産業振興担当 電話 0238-26-6045

「人材確保に向けた企業の魅力の伝え方セミナー」を開催しました！

11月29日長井市のタスパークホテルにおいて、企業が若者に対して自社の魅力を効果的に伝える手法や、UIターン者の目線で県内企業への就職促進を考えるため、「人材確保に向けた企業の魅力の伝え方セミナー」を開催しました。
【参加者：オンライン含め約160名】



基調講演・モデレーター
ヤマガタデザイン株式会社
山中大介 氏
(やまなか だいすけ)

「若者から選ばれるための企業の魅力発信とは」をテーマとしたパネルディスカッションでは、登壇者から「企業は、自社の魅力のほかに地域の魅力も発信すべき。地域貢献活動をしながら地域とともに発展できる。」「若手社員が活躍・チャレンジできる企業風土が就職の決め手だった。」「行政は民間的な感覚と投資目線で、民間は地域の街づくりに資金を活かす必要がある。」

などの発言がありました。

今後も、企業と行政機関など地域が一丸となり、「オールおきたま」で地域の魅力発信を行い、若者の地元定着・回帰に取り組んでまいります。



パネルディスカッションの様子

■ 地域産業経済課 産業振興担当 電話 0238-26-6045

フラワー長井線「薬膳列車」・「若乃井酒造×山形鉄道 地酒列車」を運行！

10月8日開催 薬膳列車のようす



令和5年4月22日に全線開通100周年を迎えるフラワー長井線では、年間を通して様々なイベント列車を運行しており、10月8日(土)には、長井市産のキクイモなどを使った特製の薬膳料理を味わう「薬膳列車」を、11月12日(土)には、飯豊町の若乃井酒造と山形鉄道がタッグを組んだ「地酒列車」を運行しました。

両日ともにさわやかな秋晴れの下、参加された方は、おいしい料理や地酒とともに、車窓からののどかな秋の景色を堪能されていました。

12月以降も「クリスマスワイン列車」や「お寿司列車」、加茂川酒造とタッグを組んだ「地酒列車」を運行する予定です。詳しくは山形鉄道のホームページ(⇒)をご覧ください。



■ 総務課 連携支援室 電話 0238-26-6018

高校生が魚道の環境整備に取り組んでいます！

10月11日(火)、米沢工業高等学校の生徒が、米沢市小野川町の大樽川にある魚道の環境整備に取り組みました。魚道は、県の河川工事の際に、同校と置賜農業高等学校の生徒も参加し5年前に整備しました。米沢工業の生徒はその後毎年、魚道の効果や周辺の環境について調査を続けていく中で、魚道の中間に設けられた遡上する魚が休むためのプールに土砂が堆積していることに気がきました。

これまで河川を管理する県などで土砂を取り除いてきましたが、土木施設の維持管理の重要性を学ぼうと、昨年度から米沢工業の生徒たちが土砂の除去作業に取り組んでいます。

取り組んだのは建設環境類の3年生6人。生徒たちは、プール一面に90センチほど堆積した土砂を、汗を流しながら、およそ3時間半かけてスコップで除去しました。

授業を通じて河川管理にご協力いただいた米沢工業の生徒の皆さん、ありがとうございました。



■ 建設総務課 建設技術調整担当 電話 0238-26-6099

「第39回北方領土返還要求山形県民大会」が開催されました

11月17日(木)置賜総合支庁本庁舎講堂で「第39回北方領土返還要求山形県民大会」が開催されました。コロナウイルス拡大のため一時中止されていましたが、3年ぶりにオンラインを交えたハイブリット形式で開催されました。

大会では、長井市立長井南中学校の金田教諭による活動報告や元NHKモスクワ支局長の石川一洋氏による記念講演が行われました。また、北方領土返還要求キャラバンでは、山形県北方領土返還促進協議会の方々から「北方四島は我が国固有の領土であり、一日も早い解決に向け後押ししていく」との力強いメッセージが伝えられました。



■ 総務課企画調整担当 電話 0238-26-6006

～地域が抱える課題等を審議～ **令和4年度置賜地域議員協議会を開催**

置賜地域における課題や総合支庁が実施する事業等の調査・審議を行う、**置賜地域議員協議会**が、管内から選出された**8名の県議会議員の出席のもと、11月18日、置賜総合支庁本庁舎で開催**されました。

審議に先立ち、西澤総合支庁長から、新型コロナの状況、8月3日からの大雨に係る復旧状況、置賜地域のイベントや若者定着・回帰に向けた総合支庁の取組み等について説明を行いました。

質疑では、**豪雨災害について、道路・河川・農作物など幅広い分野における防災力の強化と復旧促進に向けた提案・確認**がなされたほか、いじめや不登校の現状と対応、電動モビリティシステム専門職大学の入校者確保、イノシシの広域捕獲



活動支援、近隣県との連携促進など、県政全般について活発な議論が交わされました。

■ 総務課 企画調整担当
電話 0238-26-6006

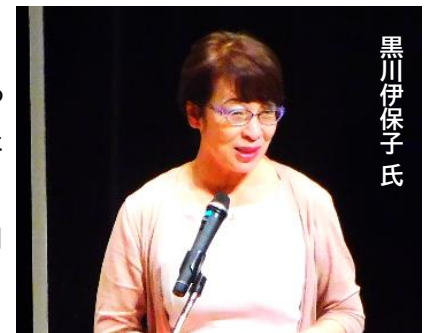
青少年の健やかな成長を願って



令和4年10月30日(日)、長井市民文化会館を会場に「**令和4年度山形県青少年健全育成県民大会**」が開催され、青少年の育成に取り組む個人、団体のほか、運動開始から10年目を迎えた”いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動の標語・ポスターの優秀作品が表彰されました。

「いじめ・非行防止セミナー」では、南陽市青少年市民会議副会長の江口ひろみ氏による事例発表等や、『妻のトリセツ』などの著者である黒川伊保子氏による、ちょっとした気遣いでコミュニケーションを円滑にする人生の対話術について講演が行われました。

引き続き青少年の健やかな成長を願い、「青少年を地域で見守り、育み、支援する」運動の輪を広げてまいります。 ■ 子ども家庭支援課 子育て支援・女性青少年担当
電話 0238-26-6027



黒川伊保子氏

～持続可能な社会をめざして～ **環境やまがた大賞の受賞者が決定！**



県では、**環境への負荷の少ない持続可能な社会づくりに取り組む活動の促進と県民意識の醸成を図る**ことを目的に、地球環境や地域環境に関する活動を環境やまがた大賞として表彰しています。今回、置賜地域から2団体が大賞を受賞し、10月15日(土)、「やまがた環境展2022」で表彰式が行われました。受賞団体のさらなる活躍を期待しています。

<受賞団体>

○特定非営利活動法人 美しいやまがた森林活動支援センター (南陽市)【写真左端】

環境教育出前講座や自然環境を学べるイベント(大森林祭)の開催、企業と連携した森林保全活動などの森林にまつわる多岐にわたる啓発活動を16年以上実施。

○ネイチャーフロント米沢

(米沢市)【写真右から2番目】

回復が困難とされる吾妻連峰弥兵衛平湿原の植生復元活動を約20年実施し、湿原の着実な回復を実現するほか県民や学生を対象にバードウォッチング等の自然啓発活動を実施。

■ 環境課 環境企画・自然環境担当 電話 0238-26-6035

冬は要注意！ヒートショックを防ごう

冬は入浴事故が多くなります。要因の一つがヒートショックです。ヒートショックは、急激な温度変化により血圧や脈拍が変動することで、身体に様々な反応が起こります。その結果、一時的な意識障害や脳卒中・心筋梗塞等が生じ、転倒や浴槽で溺れる等命に関わることもあり、特に高齢の方は注意が必要です。

〈ポイント〉

- ◆ 脱衣所や浴室を暖める
- ◆ かけ湯をする
- ◆ お風呂の温度は41度以下にし、お湯につかる時間は目安10分
- ◆ 前後に水分補給
- ◆ 同居家族がいれば入浴前に声がけ
家族は入浴中の家族を気にかける



また、体調不良時、飲酒や食事直後、睡眠薬等の服用後、早朝等の入浴は避けましょう。

入浴は疲れを癒しますが、一歩間違えると命の危険を伴います。お風呂の入り方を注意しましょう。

■ 保健企画課 健康長寿推進担当
電話 0238-22-3004

油断大敵！油流出事故を防ぎましょう！

冬期間は暖房器具の使用に伴い、灯油などが河川に流出する事故が増える傾向にあります。

その多くは「うっかりミス」によるものですが、下流域の人々の生活に大きな被害を与えてしまうとともに、油の処理費用は原因者の負担となるので、一瞬の気のゆるみが大きな後悔につながります。

《油流出事故を防ぐために》

- ホームタンクから灯油を小分けする際は、絶対にその場を離れない！
- 小分けのポリタンク等は安定したところに置き、転倒に注意しましょう！
- 降雪前にホームタンクや配管に破損や亀裂がないか点検するとともに、落雪から保護しましょう！



事故発生時には、最寄りの消防署、市町または置賜総合支庁環境課にご連絡ください。



■ 環境課 環境保全担当 電話 0238-26-6035

食品ロスを削減しよう

食べ残しや売れ残りなどの理由で、本来食べられるのに捨てられてしまう食品のことを「食品ロス」といいます。

12 つくる責任
つかう責任



日本の食品ロスは年間522万トンで、これは、国民全員が毎日【おにぎり1個分】の食品を捨てていることとなります。

「食品ロスを減らす方法」を参考に、環境にもお財布にも優しい食品ロス削減に取り組んでみましょう。

<食品ロスを減らす方法>

- ◎消費期限(過ぎたら食べない方がよい期限)と賞味期限(おいしく食べられる期限)の違いを理解し、食べられる食品をむやみに捨てない
- ◎毎月決まった日に冷蔵庫や食品庫を確認し、買いすぎを防ぎ計画的に食材を使いきる
- ◎食品ロス削減に取り組む「もったいない山形協力店」を利用する

もったいない山形協力店(県ホームページ)⇒



■ 環境課 廃棄物対策担当 電話 0238-26-6034

置賜総合支庁総務企画部総務課企画調整担当 住所:米沢市金池7丁目1-50
TEL:0238-26-6100 FAX:0238-24-1402